
第164回神奈川県臨床外科医学会集談会 プログラム

日 時：令和8年2月14日（土）午後2時00分～

場 所：神奈川県総合医療会館7階講堂

（横浜市中区富士見町3-1 TEL045-241-7000）

開会の辞 当番世話人 平塚市民病院 病院長 中川 基人（14:00-14:05）

レジデントプレゼンテーション（発表4分 質疑応答2分）

セッション1（14:05-14:35）

座長：平塚市民病院 消化器外科部長 藤崎 洋人

1. 胆嚢捻転症の2例

川崎市立井田病院

○宇佐美 心手（うさみ しんじゅ）、里舘 均、須貝 愛、小島 英哲、藤村 知賢

2. 臍前十二指腸後門脈の走行異常を伴った横行結腸癌の1切除例

海老名総合病院 外科

○岩本 涼夢（いわもと すずむ）、水藤 広、根本 洋、志村 国彦、去川 秀樹、宮地 孟、山下 史晃、宮前 拓

3. 血清CA19-9値が異常高値を示した黄色肉芽腫性胆嚢炎の1例

済生会横浜市南部病院

○得田 篤史（とくだ あつし）、有坂 早香、上田 倫人、澤井 悠樹、福田 桃子、村田 光隆、小林 圭、朱 美和、平井 公也、笠原 康平、本庄 優衣、土田 知史、長谷川 誠司、中山 崇、虫明 寛行

4. 腹腔鏡下肝部分切除にて長期生存が得られた類上皮性血管内皮腫の1例

国立病院機構 相模原病院

○中村 朋郎（なかむら ともろう）、坂本 友見子、須藤 有、鶴丸 裕司、桑野 紘治、大越 悠史、大泉 陽介、飯塚 美香、森谷 宏光、二渡 信江、旗手 和彦、金澤 秀紀

5. 分岐型IPMNとして経過観察の後に切除したIntraductal oncocytic papillary carcinoma の1例

済生会横浜市東部病院 消化器外科¹⁾、病理診断科²⁾

○古田 雄介（ふるた ゆうすけ）¹⁾、植松 陽介¹⁾、方宇 慶蒼¹⁾、加藤 悠人¹⁾、山田 暢¹⁾、西山 亮¹⁾、木村 徳宏²⁾、江川 智久¹⁾

レジデントプレゼンテーション

セッション2（14:35-14:59）

座長：川崎市立川崎病院 外科担当部長 菊池 弘人

6. 腸間膜腫瘍として発見されたホジキンリンパ腫の一例

横浜市立市民病院 消化器外科¹⁾、血液内科²⁾、病理診断科³⁾

○小林 絵美里（こばやし えみり）¹⁾、武井 将伍¹⁾、松浦 暢孝¹⁾、星野 夏希¹⁾、浦島 哲大¹⁾、今西 康太¹⁾、木下 颯花¹⁾、清水 康博¹⁾、田中 優作¹⁾、藪野 太一¹⁾、櫻井 安紀²⁾、林 宏行³⁾、望月 康久¹⁾

7. 胸腺原発腺様嚢胞癌の一切除例

聖マリアンナ医科大学 呼吸器外科¹⁾ 病理診断科²⁾

○栗根 章太（あわね しょうた）¹⁾、大坪 莞爾¹⁾、田村 萌香¹⁾、柿崎 典史¹⁾、
畠山 高享¹⁾、酒井 寛貴¹⁾、本間 崇浩¹⁾、丸島 秀樹¹⁾、小島 宏司¹⁾、小泉 宏隆²⁾、
小池 淳樹²⁾、佐治 久¹⁾

8. 墜落外傷によるクラッシュ症候群により術前心停止となった一例

藤沢市民病院 外科 救急外科

○前田 蒼偉（まえだ あおい）、伊藤 慧、駿馬 悠介、後藤 貴宗、増田 太郎、矢後 彰一、
太田 絵美、中川 和也、岡 智、牧野 洋知、山岸 茂

9. 急性虫垂炎を契機に診断された虫垂癌の一例

聖マリアンナ医科大学 臨床研修センター

○尾賀 美優（おが みゆ）、福岡 麻子、磯村 香介、佐々木 大祐、浜辺 太郎、
牧角 良二、民上 真也

レジデントプレゼンテーション

セッション3（14：59－15：23）

座長：相模原協同病院 外科部長 若林 正和

10. 用手的整復をしえた重積を伴う胃GISTの1例

平塚市民病院

○大岡 駿（おおおか しゅん）、佐野 淳一、大谷 理紗、室井 貴子、林 啓太、
原 明日香、田島 佑樹、金子 靖、藤崎 洋人、本郷 久美子、高野 公德、葉季 久雄、
米山 公康、中川 基人

11. 骨髄異形成症候群治療中の急性腹症に対して緊急手術を行った1例

川崎市立川崎病院 外科

○林 正紀（はやし まさのり）、菊池 弘人、堀内 悠生、大沢 桃香、野沢 健太郎、
長江 慶大、宮 弘子、中間 麻矢子、菊池 直哉、蛭川 和也、今井 俊一、小倉 正治、
萬谷 京子、和多田 晋、金井 歳雄

12. 免疫チェックポイント阻害薬により微小変化型ネフローゼ症候群を来した食道悪性黒色腫の一例

国際親善総合病院

○坂田 光駿（さかた こうしゅん）、佐藤 道夫、富田 真人、徳田 敏樹、小泉 亘、
鶴嶋 史哉、植松 亜樹、佐久間 俊光、上江洌 佑樹

13. 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後に発症した絞扼性腸閉塞症の1例

社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 消化器外科¹⁾、

富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科²⁾

○橋本 大空（はしもと おおぞら）¹⁾、田澤 賢一¹⁾、伊東 剛¹⁾²⁾、山野 格寿¹⁾、
神山 公希¹⁾、藤井 努²⁾

— 休憩（7分）—

要望演題「外科の魅力を伝えよう」（発表6分 質疑応答・討論4分）

セッション1（15：30－17：10）

座長：平塚市民病院 外科部長 高野 公德

1. 腹腔鏡下にて修復しえた外傷性横隔膜ヘルニア嵌頓の1例

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科¹⁾、会津中央病院 外科²⁾、
日本医科大学付属病院 消化器外科³⁾

○高田 康幸（たかだ やすゆき）¹⁾、三島 圭介¹⁾、照井 妙佳²⁾、吉村 祐亮²⁾、
長谷川 翔²⁾、矢澤 貴²⁾、旭 修司²⁾、天野 穂高²⁾、井上 典夫²⁾、谷合 信彦¹⁾、
吉田 寛³⁾

2. 異所性脾を先進部とした成人腸重積の1例と腸重積を通した外科の魅力

横浜医療センター 外科

○根岸 大貴（ねぎし たいき）、藤井 義郎、渡邊 晴貴、小粥 真実、坂口 裕太郎、
大石 裕佳、木村 安希、江畑 信孝、藤原 大樹、山本 悠史、村上 崇、木村 準、
清水 哲也、松田 悟郎

3. 卒後9年目にしてやっと見えてきた自分の将来像

～縁もゆかりも無いところで得られた多くの人脈～

平塚市民病院 外科

○渡部 希美（わたのべ のぞみ）、高野 公德、大谷 理紗、室井 貴子、佐野 淳一、
林 啓太、原 明日香、田島 佑樹、金子 靖、藤崎 洋人、本郷 久美子、葉季 久雄、
米山 公康、中川 基人

4. 若手外科医にとって魅力的なキャリア形成とは何か

—実体験をもとに考えるキャリアの多様性とその提示の意義—

湘南鎌倉総合病院 外科

○赤羽 祥太（あかばね しょうた）

5. 外科医として働き続けることを、等身大で考える

神奈川県立がんセンター 消化器外科（肝胆脾）

○神谷 真梨子（かみや まりこ）

6. 海外留学への帯同経験と帰国後の研鑽

湘南慶育病院 消化器外科

○猪股 研太（いのまた けんた）、志田 敦男

7. 内省から現在の外科の魅力を再考する

J A神奈川県厚生連 相模原協同病院

○若林 正和（わかばやし まさかず）、嶋田 和晃、山下 愛矢、近江 将貴、加瀬 匠磨、
松尾 聖哉、小堀 秀一、吉田 隼人、木村 友洋、穂坂 美樹、堂本 佳典、牛久 秀樹、
船津 健太郎、相崎 一雄

8. 多様な働き方を受容する大きな外科学講座へ ～横浜市立大学の取り組み～

横浜市立大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科

○山田 顕光（やまだ あきみつ）、風間 慶祐、吉川 貴己、齋藤 綾、遠藤 格

9. 外科の魅力 —それでも、外科を選び続ける理由—

湘南東部総合病院 外科

○中山 祐次郎（なかやま ゆうじろう）、戸田 郁文、伊吹 省、櫻井 嘉彦

— 休 憩 (10分) —

特別講演 (17 : 10－18 : 10)

座長：神奈川県臨床外科医学会 会長
横浜市立大学附属病院 病院長
横浜市立大学大学院研究科消化器・腫瘍外科講座 主任教授
遠藤 格

『肝切除におけるロボット支援下手術の立ち位置：
開腹と腹腔鏡を補う有望なアプローチ法』

講師 慶應義塾大学医学部一般・消化器外科 准教授 阿部 雄太 先生

レジデントプレゼンテーション 表彰 (18 : 10－18 : 15)

閉会の辞 平塚市民病院 病院長 中川 基人 (18 : 15－18 : 20)